**平成28年度**

**社会福祉法人みなみ中央ケアセンター事業報告**

施設長　　鈴木 友子

**１．御利用者の満足度の向上を図る**

優先順位の高い老朽化した設備、備品の一部を修繕、交換し安全と清潔に努めた。定例研修、外部研修実施、職員の専門性と意欲の向上、接遇マナーに取り組んだ。送迎時に添乗員を同乗、2人体制にて送迎し安全努めた。御利用者満足度の充実を図れるよう努めた。

**2．施設内事故を防止する**

リスク委員会設置、事故発生後の敏速な対応、再発防止に努めた。施設内の危険個所の点検、改善に向けての検討を行った。事故報告書、緊急時対応マニュアル、感染症対策書類全般の改変を実施。職員の腰痛予防のために機能訓練士による研修の実施

テーブルの脚にカグスベール装着

**3．個別ケアの推進**

　　専門職による機能訓練をデイサービス、ショートステイに導入

レクリエーション、集団体操、手工芸に関しても毎月、部署内ミーティングにて検討し継続的に提供

**4.　地域との連携**

地域ケア会議、民生・児童委員の情報交換会、中央地区情報交換会、多職種連携会議に出席、町会お祭り、打ち上げに参加、熟年相談室研修会、リハビリ連絡会、葛西をつなげる会、船堀会等、地域・介護・医療団体と連携を図る。

**5．人材の確保及び育成の強化**

ハローワーク、職業訓練校・専門学校への求人依頼、介護フェア・就職フェア出展、求人ポスター貼り紙、ヘルパー実習生や夜間高校生の体験学習、ボランティアの積極的に受け入れを行った。求人誌、紹介・派遣会社を活用し人材の確保に努めた。

　　毎月の定例研修を全職員へ実施、助成金を利用しての江戸川センターと合同のリーダー対象外部研修 外部理学療法士によるトランス研修

**6．施設環境整備**

　　環境・美化委員会を設置、危険個所の点検、諸器具備品の修繕、修理、交換し施設全体の清潔保持に努めた。

水漏れ・補修の為の外壁・屋上工事　非常階段錆取・補修工事　施設裏水道管・電気工事　業者による浴室カビ取り清掃・補修工事　業者による1,2階の床清掃・ワックスがけ　デイサービス・ショートスティフロアーのエアコン購入・清掃・修理　デイサービステレビ購入　浴室カーテンレール交換　洗濯機・乾燥機・給湯器・掃除機購入・修理　蓋付きゴミ箱購入　介護職員の浴着　上着購入　パントリー職員白衣購入

**総評**

地域に必要とされる選ばれる施設を目指し運営してきた。

中央ケアセンターは開設13年目を迎え、施設内は老朽化し長年の悩みであった雨天時の水漏れ、浸水について工事を行った。器具備品についても交換・修繕する必要性がある箇所が多くみられ、危険箇所、御利用者が直接使用する等、優先順位の高いところから工事、修繕、交換を行い、安全と清潔に努めてきた。今後も、設備面や備品の修繕、改善を行っていく箇所があり、予算、費用対効果等、検討していく必要がある。

施設内事故については、事故件数自体はＨ２７年度52件、Ｈ２８年度５７件と、事故を減少させることはできなかった。事故後の対応マニュアル、事故報告書の見直し等、再発防止につとめ、職員研修行った。介護中に身体を痛める職員があり、軽微な改善ではあるが、重量のあるテーブルの移動が楽になるように試験的にテーブルの脚にカグスベールをつける等、行った。労災事故が発生したこと、労働基準監督署の実地指導が入ったこともあり、安全衛生体制を構築する必要がある。

　今年度からセンターの特徴とすべく導入した、専門職による機能訓練。デイサービス・ショートスティに導入、当施設を利用する目的の幅を大きくすることができたと思われる。　デイサービスとショートスティでは、タイムスケジュールや利用者の心身のレベルが異なる為に同様のプログラムや活動を提供することは難しく、会議等で検討し更に充実させていくことが必要がある。

　地域連携については、地域ケア会議や中央地区情報交換会等、なごみの家訪問、町会お祭りに参加し多職種、地域の方々と顔の見える関係を築くことができた。継続的に地域の情報交換会へ参加し、江戸川区の包括ケアシステムの拠点とするなごみの家への訪問し、地域支援ネットワークづくりに介入、システムの一端を担う施設として協力していく。

　人材確保については、今年度はデイサービスについては4月入職の職員を含め、介護職員の定着率については概ね問題なかった。ショートスティ介護職の離職率は高く、看護師の体調不良、怪我からの離職、休職も多く、慢性的な人手不足は改善することができなかった。業務改善、職員と面談、設備・備品の改善、研修等とセンターとしてのできる限りの努力はしたものの人手不足から施設長・管理者と職員が現場に入ることが多く十分には行うことができず、結果的に紹介・派遣会社を利用し人材確保に多くの費用をかけることとなった。

　魅力ある職場づくり、人づくりのために施設としての対策を考える必要がある。